

教職課程履修カルテ

【幼稚園教諭一種免許】

新潟青陵大学 福祉心理子ども学部

子ども発達学科

氏 名	
学籍番号	
在籍期間	年 4 月 入学 年 3 月 卒業(予定)

教職課程履修カルテについて

【目的】

「保育実践演習」を履修するに際しては、「教職課程履修カルテ」の作成・提出が必要となります。「教職課程履修カルテ」は、教職課程（幼稚園教諭一種免許）を履修している学生ひとりひとりの学習状況を学生自身がきめ細かく把握するためのものです。

この「教職課程履修カルテ」には、入学してから4年次までの間に履修した教職に関する科目や教職に関するその他の活動における学習内容、および学年ごとの自己評価を記録します。

本学での授業科目の履修や、その他の様々な活動を通じて身に付けてきた知識・技能を振り返り、教員として必要な資質能力がどの程度形成されたかを確認します。この科目の履修を通じて、教員になる上での自分の課題を把握し、不足している知識・技能を補い、さらなる向上を目指します。

【教職課程履修カルテの内容】

1. 教職に関する科目の履修状況
2. 領域及び保育内容の指導法に関する科目の履修状況
3. 文部科学省令（教育職員免許法施行規則第66条の6）に定める科目の履修状況
4. 大学が独自に設定する科目の履修状況
5. 幼稚園教育実習の振り返り
6. 教職にかかわる自主的体験学習活動
7. 必要な資質能力についての自己評価シート により構成されています。

【作成時期】

教職課程履修1年目から教員免許取得まで、継続して作成します。

「教職履修カルテ」は教員免許状取得に必須であり、カルテの作成・維持・保管は4年間厳重に行わなければなりません。カルテの記載は、各期に開催される教職オリエンテーションで行います。

【作成の手順】

1. 新潟青陵大学 N-COMPASS から教職課程履修カルテの様式をダウンロードします。
2. 学期ごとに、履修状況を記入します。
3. 学年ごとに、自己評価シートの記入を行います。
4. 教職オリエンテーションで「幼稚園教諭育成委員会」担当教員へ提出します。
5. 教員がコメントを記述し、面談時に返却します。
6. 各自、教職実践演習用の指定ファイルに、履修カルテ及び必要な書類を綴じ込みます。

【注意事項】

履修カルテの提出がない場合、「幼稚園教育実習」及び「保育実践演習」の履修は認められませんので、十分注意してください。

履修カルテ記入の仕方

I. 教職関連科目履修状況の記載

「1. 教職に関する科目の履修状況」、「2. 領域及び保育内容の指導法に関する科目の履修状況」、「3. 文部科学省令（教育職員免許法施行規則第66条の6）に定める科目の履修状況」、「4. 大学が独自に設定する科目の履修状況」の記載について

履修した科目について「修得年」、「教員名」、「成績」、「学んだこと（100字程度）」を記入します。成績評価がまだ出ていない場合は「履修中」と記します。単位を取得しなかった科目を記入する必要はありません。

II. 「幼稚園教育実習の振り返り」の記載について

幼児教育実習が終わった段階で、「幼稚園教育実習で学んだこと、新たな自己の課題」をまとめます。

※「幼稚園教育実習によるコメント記載欄」は、「幼稚園教諭育成委員会」担当教員が記載します。

III. 「教職にかかわる自主的体験学習活動」の記載

子育て支援や学校現場での教職員等との交流、ボランティア活動等の参加・体験等を記載します。

IV. 「必要な資質能力についての自己評価シート」の記載について

各学年が終了する段階で、「必要な資質能力についての自己評価」の記載を行います。

1. 必要な資質能力についての自己評価

該当する数字（5段階 5:とてもよくできた～1:できなかった）で記載します。各学年の終了時に自己評価を行います。

2. 教職を目指す上での自身の課題と課題への取組

必要な資質能力についての自己評価を概観して、自己課題と課題に対する取組を記載します。

教職関連科目履修状況（幼稚園教諭一種免許状）

学科		氏名		学籍番号	
----	--	----	--	------	--

1. 教職に関する科目の履修状況

区分	授業科目	単位数	修得年	教員名	成績	学んだこと
教育の基礎的理解に関する科目	教育本質論	2 (必修)				
	保育者論	2 (必修)				
	教育制度論	2 (必修)				
	教育・学校心理学	2 (必修)				
	発達心理学I	2 (選択)				
	特別の支援を必要とする乳幼児の保育	2 (必修)				

	保育の計画と評価	2 (必修)				
指導、教育相談等に関する科目	教育方法論	2 (必修)				
	子どもの理解と援助	2 (必修)				
	教育相談論(カウンセリングを含む)	2 (必修)				
	幼稚園教育実習指導	1 (必修)				
教育実践に関する科目	幼稚園教育実習Ⅰ	2 (必修)				
	幼稚園教育実習Ⅱ	2 (必修)				
	保育実践演習	2 (必修)				

2. 領域及び保育内容の指導法に関する科目の履修状況

区分	授業科目	単位数	修得年	教員名	成績	学んだこと
領域及び保育内容の指導法に関する科目	子どもと健康	2 (必修)				
	子どもの運動遊び	1 (選択)				
	子どもと人間関係	2 (必修)				
	子どもと環境	2 (必修)				
	子どもと言葉	2 (必修)				
	子どものことば遊び	1 (選択)				
	子どもと表現	2 (必修)				

子どもの 造形遊び	1 (選択)				
保育内容 総論	2 (必修)				
健康指導 法	2 (必修)				
人間関係 指導法	2 (必修)				
環境指導 法	2 (必修)				
言葉指導 法	2 (必修)				
表現指導 法	2 (必修)				

3. 文部科学省令(教育職員免許法施行規則第66条の6)に定める科目の履修状況

区分	授業科目	単位数	修得年	教員名	成績	学んだこと
文部科学省令の科目	人の暮らしと日本国憲法	2 (必修)				
	スポーツ I	1 (必修)				
	スポーツ II	1 (必修)				
	英会話 I	1 (必修)				
	英会話 II	1 (必修)				
	IT 活用演習 I	1 (必修)				
	IT 活用演習 II	1 (必修)				

4. 大学が独自に設定する科目の履修状況

区分	授業科目	単位数	修得年	教員名	成績	学んだこと
大学が独自に設定する科目	乳児保育 I	2 (選択)				
	子ども庭支援論	2 (選択)				
	子ども家庭支援の心理学	2 (選択)				
	子育て支援 I	1 (選択)				
	子育て支援 II	1 (選択)				
	社会的養護 I	2 (選択)				
	社会的養護 II	2 (選択)				

Ⅱ. 幼稚園教育実習の振り返り

実習園名	所在地	実習期間	特記事項

1. 幼稚園教育実習Ⅰで学んだこと、新たな自己課題

幼稚園教育実習Ⅰで学んだこと
新たな自己課題
※幼稚園教育実習によるコメント記載欄（担当教員）

2. 幼稚園教育実習Ⅱで学んだこと、新たな自己課題

幼稚園教育実習Ⅱで学んだこと
新たな自己課題
※幼稚園教育実習によるコメント記載欄（担当教員）

Ⅲ. 教職にかかわる自主的体験学習（ボランティア等）活動

期間	活動内容	学びや気づき

IV. 必要な資質能力についての自己評価シート

1. 必要な資質能力についての自己評価

5 : とてもよくできる、4 : ある程度できる、3 : どちらともいえない、2 : あまりできない、1 : できない

必要な資質能力の指標			自己評価			
項目	項目	指標	1年次 終了時	2年次 終了時	3年次 終了時	4年次 終了時
学校教育 についての 理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子どもに対する責務を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育の理念・教育史・思想 の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学校教育の社会的・制 度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
子どもに ついての 理解	心理・発達論的な子ど も理解	子ども理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	生活集団の形成	生活集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもの状況に応じた 対応	不登園、特別支援教育などについて、個々の子どもの特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
他者との 協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保護者・地域との連携 協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5

	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなしたりすることができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子どもたちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもに対する態度	気軽に子どもと顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	公平・受容的態度	子どもの声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身に付いていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	5領域	5領域のねらいと内容について理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	幼稚園教育要領	幼稚園教育要領の内容を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育課程の構成に関する基礎	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	幼児教育指導法	幼児教育指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
教育実践 課題探求	実習の各段階の理解と実践力	見学実習、観察実習、参加実習、責任実習、部分実習、全日実習の目的と内容、方法を理解し、実践することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保育分析能力	子どもの生活と保育のねらい、内容と方法を分析しながら実習日誌をまとめることができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5

	保育構想力	子どもの姿や予想される子どもの生活をイメージしながら保育活動を構想し、週案、日案を作成することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教材開発力	保育活動を展開するための教材・資料を開発・作成することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保育展開力	子どもの反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	表現技術	的確な話し方を含め、保育活動を行う上で必要な表現の技術を身に付けていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	学級経営力	子どもとの間に信頼関係を築き、子どもの特性や心身の状況を理解して、学級集団をまとめて運営していくことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
課題探求	課題認識と探求力	自己の課題を認識し、その解決に向けて、学び続ける姿勢を持っていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育時事問題	幼稚園教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりの意見を持つ事ができていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5

2. 教職を目指す上での自身の課題と課題への取組

記載時	資質能力についての自己課題	課題に対する取組
1年次終了時		
2年次終了時		
3年次終了時		
4年次終了時		